

ちょっと一言!!

市民の声

広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せる思いをインタビューしました。



「夜7時頃までお願いできればありがたいです。」

ぜひご検討をお願いします。

(30代・女性)

● 私には、小学生の子供がいます。

ここ何年か、学校では「お弁当の日」が設けられていますが、この趣旨が分かりません。それに二学期の終了日が「お弁当の日」なので、午後の授業は1時間程で終わります。午後の1時間の為にお弁当を用意する保護者の負担を増やしているような気がします。

● 今、私が行方市に感じていることは、市長さんや議員さん達の「このまちを良くしよう」という熱意の大きさです。今までにない、市民目線の行政運営に 感心しています。

(40代・男性)

しかしながら、まだまだ数多くの問題点が残されているのも現状です。

一刻も早い問題改善と更なる安心・安全なまちづくりを期待したいと思います。

(40代・男性)

● 学童保育の延長はできないでしょうか。共働きのため、せめて

話し合いなど本当に必要だと思うのは私だけではないと思います。市でも具体的な対応策を早急に練って欲しいと思います。

(50代・男性)

● 昨年暮から、上昇が続いている株価、年が変わっても好調のようですが、私たちが実感できるのはいつになるのでしょうか。

● 昨年暮から、上昇が続いている株価、年が変わっても好調のようですが、私たちが実感できるのはいつになるのでしょうか。デフレから脱却できたとしても、景気が良くなった分、物価が上がってしまったたり、消費税率が引き上げられたりしては、日常生活で感じ取るのは難しく、所詮違う世界の出来事のような気がします。

● 東日本大震災から1年10ヶ月になろうとしています。度々起る地震に不安を募らせるのは私だけではないと思います。

(50代・男性)

● 東日本大震災から1年10ヶ月になろうとしています。度々起る地震に不安を募らせるのは私だけではないと思います。ひとつたび大震災が起こったらどう行動すれば良いか皆無です。そのような不安に少しでも対応できる訓練が大事だと思います。行政班単位での訓練や役割分担などの

議会では、議会や市に対する意見、あるいは「議会だより」を読んでの感想などをお待ちしています。

住所・氏名・電話番号を明記のうえ、議会事務局まで。

編集後記

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

この原稿と向き合う今はまだ、29年ぶりの師走総選挙の混乱ともいえる余韻の中にあります。政権の帰属を左右する、白熱すべき選挙戦でありながら、過去最低の投票率という冷めた結果に終わりました。

繁忙期と寒気が重なった結果であれば仕方ないことですが、もし、国民の関心が冷えていく傾向にあるとすれば、末端を担うと自負する、我々市議会にとっても、畏怖の念を禁じえません。

市民の皆様の期待と信頼を維持していくためにも、私達は、見直される政策の是非について、自ら判断できるような資質の向上に努めてまいります。

この一年が皆様にとりまして、実り多く、健やかに過ごせる年となりますことを、心よりご祈念申し上げます。

(栗原 繁)

広報委員会

委員長 高橋正信

副委員長 栗原 繁

委員 大原功坪 小林 久

委員 鈴木 裕 鈴木周也